

法人の概要

建学の精神

本学苑は仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成することを建学の精神としている。



教育方針

短期大学

本学では「教育基本法」ならびに「学校教育法」にのっとり、本学の建学の精神・教育の理念に基づいて、少子化・子育て困難、超高齢化、そしてIT化が進行する現代社会からの要請にこたえ、高度な専門知識や技術・技能を身につけて「やわらか心」で地域社会に貢献できる保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成することを教育目標としている。



中・高等学校

真宗高田派の宗門立学校として、言行忠信・表裏相応を校訓とし、仏教教育による人間味の豊かさを深め、規律精神を基とした行動力の育成と基礎学力の充実錬磨につとめ、広い視野から社会に貢献できる人材の養成をめざした教育を行っている。また、中学校・高等学校一貫六年制コースを設置し、高い水準の学力と知的な生徒を育成している。



設置する学校、定員及び現員

- ◆ 高田短期大学 三重県津市一身田豊野 195
- ◆ 高田高等学校 三重県津市一身田町 2843
- ◆ 高田中学校 三重県津市一身田町 2843

(令和4年5月1日現在)

高田短期大学					
学科名	入学定員	収容定員	1年生	2年生	合計
子ども学科	150名	300名	159名	191名	350名
キャリア育成学科	100名	200名	91名	93名	184名
〔 オフィスワークコース 〔 60名 〔 120名 〔 61名 〔 69名 〔 130名 〔 介護福祉コース 〔 40名 〔 80名 〔 30名 〔 24名 〔 54名					
合計	250名	500名	250名	284名	534名

高田中・高等学校						
	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田高等学校	570名	1,690名	600名	559名	572名	1,731名

(学則定数 730名)(3ヵ年計 2,190名)

	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田中学校	190名	570名	207名	190名	200名	597名

(学則定数 240名)(3ヵ年計 720名)

役員・評議員

(令和4年5月31日現在)

理事		定数10名 実数9名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長(学苑長)	
	梅林 久高	高田短期大学 学長	
	鷺尾 尚史	高田中・高等学校 校長	
第3号 評議員	井村 正勝	井村屋グループ(株) シニア・フェロー	
	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送(株) 相談役	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 理事相談役	
	松田 英明	三重牛セキ販売(株) 代表取締役社長	

監事		定数2名 実数2名	
区分	氏名	現職等	
監事	下津 和文	下津醤油(株) 代表取締役会長	
	山中 利之	山中利之税理士事務所 公認会計士・税理士	

評議員		定数21～25名 実数22名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長(学苑長)	
	梅林 久高	高田短期大学 学長	
	鷺尾 尚史	高田中・高等学校 校長	
第3号 法人職員	鷺尾 敦	高田短期大学 キャリア育成学科長	
	福西 朋子	高田短期大学 子ども学科長	
	宇河 晴美	高田中・高等学校 副校長	
	高梨 正	高田中・高等学校 教頭	
第4号 功労者	井村 正勝	井村屋グループ(株) シニア・フェロー	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 理事相談役	
	千草 篤麿	(福)高田真善会 報徳園 施設長	
	小柴 弥生	小柴産業(株)	
第5号 卒業者	松田 英明	三重牛セキ販売(株) 代表取締役社長	
	倉田 栄治	(株)津ドライビングスクール 代表取締役	
	伊藤 博康	(有)平治煎餅本店 代表取締役	
	稲田 直子	高田短期大学育児文化研究センター 学外研究員	
第6号 本山総務	弓削 弘嗣	(宗)真宗高田派総務	
第7号 学識経験者	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送(株) 相談役	
	雲井 敬	三重交通グループホールディングス 監査役	
	浜田 吉司	(株)マस्याグループ本社 代表取締役	
	山田 瞳	楠井法律事務所 弁護士	

教職員数

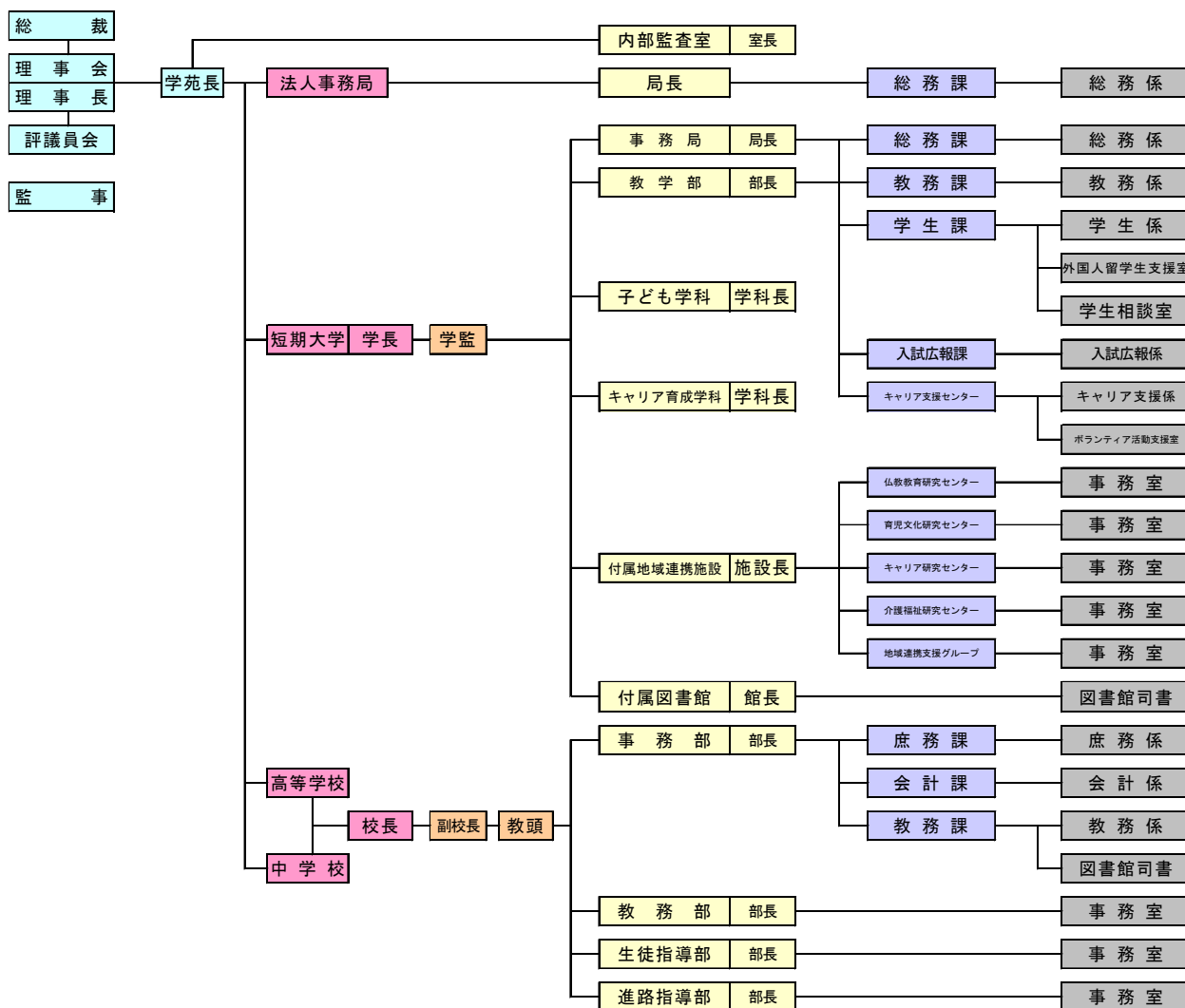
(令和4年5月1日現在)

		教 員		職 員		合 計
		本務教員	兼務教員 嘱託・非常勤等	本務職員	兼務職員 嘱託・非常勤等	
本 部		—	—	5 名	3 名	8 名
短 期 大 学	子ども学科	16 名	31 名	14 名	8 名	69 名
	キャリア育成学科	9 名	36 名	7 名	8 名	60 名
	〔 オフィスワークコース 介護福祉コース	〔 6 名 3 名	〔 18 名 18 名	〔 6 名 1 名	〔 4 名 4 名	〔 34 名 26 名
高等学校		101 名	28 名	8 名	14 名	151 名
中学校		29 名	16 名	3 名	1 名	49 名
合 計		155 名	111 名	37 名	34 名	337 名

(注) 学苑長は学苑本部の本務職員に、短大学長は子ども学科の本務教員に含む。

また、短大の兼務教員数には非常勤講師の後期採用者も含む。

組織構成図



校舎敷地及び建物等の概要

区分		専用面積㎡	計面積㎡	所在地	権利の所属	備考
短期大学用地	校舎敷地	7,399	7,399	津市一身田豊野	自己所有	
	運動場用地	5,921	5,921	〃	〃	
	学生用駐車場用地	2,392	2,392	〃	〃	
	その他	3,279	3,279	〃	〃	緑地等
	計	18,991	18,991			
上記以外の学校用地	中学校校舎敷地	1,274	1,274	津市一身田町他	自己所有	内 借用588㎡
	高等学校校舎敷地	15,180	15,180	〃	〃	内 借用578㎡
	中学校運動場用地	14,481	14,481	〃	〃	
	高等学校運動場用地	49,169	49,169	〃	〃	内 借用3,275㎡
	その他	9,875	9,875	〃	〃	内 借用1,663㎡
	計	89,979	89,979			
合 計		108,970	108,970			
校地以外の土地		61,913	61,913	津市芸濃町河内	自己所有	山 林

短期大学の部

区分	面積㎡	室数	構 造	権利の所属
1号館	3155.60	33	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建	自己所有
2号館	4163.75	38	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
3号館	1743.64	15	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
音楽棟	858.82	23	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
図書館	803.19	8	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
体育館	1983.96	15	鉄筋コンクリート造アルミニウム板葺3階建	〃
部室	31.68	2	鉄骨造2階建	〃
その他	16.98			〃
計	12757.62	134		

法人本部、高等学校・中学校の部

区分	面積㎡	室数	構 造	権利の所属
本館	4721.83	36	鉄筋コンクリート造陸屋根7階建	自己所有
1号館	2722.10	25	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
2号館	2155.05	21	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
3号館	2609.31	13	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
4号館	3125.59	16	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
5号館	4113.15	29	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
管理棟1	207.23	5	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
管理棟2	98.88	4	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
厩舎棟	396.00	8	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
第1体育館	3819.78	16	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
第2体育館	1889.03	12	鉄筋コンクリート造切妻屋根3階建	〃
第3体育館	2081.54	6	鉄筋コンクリート・鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建	〃
クラブハウス1	422.10	29	鉄筋コンクリート造2階建	〃
クラブハウス2	162.00	11	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	〃
施設管理棟	122.40	4	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平屋建	〃
その他	152.38			〃
計	28798.37	235		
合 計	41555.99	369		

備考（その他／機械室6.62㎡ 倉庫東、西47.95㎡ 渡り廊下67.50㎡ テニスコート部室30.31㎡）

学生・生徒 志願者数 推移

(令和4年5月1日現在)

短期大学		H30	R1	R2	R3	R4
子ども学科		184	134	141	254	178
キャリア育成学科		109	121	105	107	103
	オフィスワークコース	79	77	71	81	64
	介護福祉コース	30	44	34	26	39
計		293	255	246	361	281
高等学校		H30	R1	R2	R3	R4
		3,046	3,254	3,064	2,787	2,885
中学校		H30	R1	R2	R3	R4
		507	521	544	554	569

学生・生徒 在籍者数推移表

短期大学

(令和4年5月1日現在)

区分	項目	H30	R1	R2	R3	R4	
子ども学科	在籍学生数	321	283	249	321	350	
	収容定数	300	300	300	300	300	
	充足率	107%	94%	83%	107%	117%	
キャリア学科	在籍学生数	172	183	187	188	184	
	収容定数	200	200	200	200	200	
	充足率	86%	92%	94%	94%	92%	
オフィスワークコース	在籍学生数	132	133	130	139	130	
	収容定数	120	120	120	120	120	
	充足率	110%	111%	108%	116%	108%	
介護福祉コース	在籍学生数	40	50	57	49	54	
	収容定数	80	80	80	80	80	
	充足率	50%	63%	71%	61%	68%	
計	在籍学生数	493	466	436	509	534	
	収容定数	500	500	500	500	500	
	充足率	99%	93%	87%	102%	107%	

中・高等学校

(令和4年5月1日現在)

区分	項目	H30	R1	R2	R3	R4	
高等学校	在学生数	1,814	1,782	1,775	1,715	1,731	
	収容定数	1,752	1,728	1,704	1,680	1,680	
	充足率	104%	103%	104%	102%	103%	
中学校	在学生数	599	604	605	586	597	
	収容定数	540	550	560	570	570	
	充足率	111%	110%	108%	103%	105%	
計	在学生数	2,413	2,386	2,380	2,301	2,328	
	収容定数	2,292	2,278	2,264	2,250	2,250	
	充足率	105%	105%	105%	102%	103%	

学生・生徒 進路状況

卒業生・進学者・就職者数

(令和5年5月1日現在)

	子ども学科	キャリア育成学科		合計	摘要
		オフィスワーク	介護福祉		
卒業生	185	65	24	274	
就職希望者	177	64	24	265	
就職決定者	177	64	24	265	
未内定者	0	0	0	0	
進学者	1	1	0	2	三重大学他
その他	7	0	0	7	家事従事等

過去3ヶ年の公務員試験合格者

●子ども学科

市町名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
津市	保育士	1	0	3	0	0	0	1	0	3
	幼稚園教諭	2	1	1	4	2	3	6	3	4
四日市市	保育士	2	0	3	0	1	0	2	1	3
伊勢市	保育士	0	0	2	0	0	0	0	0	2
松阪市	保育士・幼稚園教諭	8	7	6	0	1	0	8	8	6
鈴鹿市	保育士・幼稚園教諭	1	2	3	1	2	0	2	4	3
亀山市	保育士・幼稚園教諭	0	1	1	1	1	0	1	2	1
鳥羽市	保育士	3	0	1	1	0	0	4	0	1
志摩市	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	0	1	0	0	1
熊野市	保育士	0	0	2	0	0	0	0	0	2
伊賀市	保育士・幼稚園教諭	1	0	0	0	0	0	1	0	0
名張市	保育士・幼稚園教諭	1	0	0	0	0	0	1	0	0
川越町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
多気町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
玉城町	保育士	0	1	0	0	0	0	0	1	0
度会町	保育士	0	1	2	0	0	0	0	1	2
大紀町	保育士	0	0	1	0	0	1	0	0	2
御浜町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
紀宝町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
三重県	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他県外	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	1	0	0	1	0
計		19	13	30	7	8	5	26	21	35

●キャリア育成学科 オフィスワークコース

採用試験名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
県・市町	行政	1	0	1	0	0	0	1	0	1

主な就職先・配属先

(令和5年5月1日現在)

子ども学科		高田幼稚園、津西幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園、愛華保育園、志登茂保育園、なかよし保育所、松阪清泉愛育園、わかすぎ第二保育園、風の丘認定こども園、高田保育園、ほうりん認定こども園、ゆたかこども園、里山学院、三重県立子ども心身発達医療センター、市町立幼稚園・保育所・認定こども園 他
キャリア育成学科	オフィスワーク	三十三銀行、百五銀行、北伊勢上野信用金庫、JA共済連三重、JAみえなか、百五カード、正和製菓、中勢ゴム、サイネックス、三重電子計算センター、日本陸送、T S Iホールディングス、三重いすゞ自動車、三重ダイハツ販売、三重トヨタ自動車、ミツイバウマテリアル、トヨタレンタリース三重、百五不動産調査、遠山病院、三重県警察 他
	介護福祉	あけあい会、三重県済生会、永甲会、嘉祥会、弘仁会、佐藤病院、聖マッテヤ会、緑の風 他

高等学校

卒業生・進学者・就職者数

		男	女	計
三年制	I類	88	130	218
	II類	87	74	161
六年制		103	87	190
計		278	291	569

進学合格者のべ数

		三年制				小計	六年制		小計	合計
		I類		II類			現	卒		
		現	卒	現	卒					
四年制学	国立	3	1	21	4	29	68	24	92	121
	公立	0	0	7	0	7	15	3	18	25
	私立	184	4	283	49	520	376	134	510	1030
文部科学省所管外		0	0	1	0	1	0	1	1	2
海外		0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大	公立	6	0	3	0	9	0	0	0	9
	私立	34	0	3	0	37	0	0	0	37
国公立各種・専門学校		6	0	6	0	12	0	0	0	12
私立各種・専門学校		36	0	8	0	44	1	0	1	45
就職		9	0	1	0	10	0	0	0	10
合計		278	5	333	53	669	460	162	622	1291

主な進学先

(令和5年4月現在)

国公立大学 146名		(医学科 27)					
筑波大学	1	名古屋大学	9	三重大学	40	広島大学	5
(医学科)	(1)	(医学科)	(4)	(医学科)	(14)	(医学科)	(3)
福井大学	1	滋賀医科大学	1	名古屋市立大学	3	京都府立医科大学	1
(医学科)	(1)	(医学科)	(1)	(医学科)	(2)	(医学科)	(1)
東京大学	4	京都大学	2	大阪大学	10	東京工業大学	3
東北大学	1	信州大学	5	静岡大学	3	神戸大学	3
私立大学 1030名		(医学科 36)					
慶應義塾大学	16	早稲田大学	20	上智大学	8	明治大学	13
青山学院大学	7	東京理科大学	25	立教大学	7	日本大学	8
法政大学	6	中央大学	12	東海大学	9	愛知医科大学	12
南山大学	25	中京大学	46	名城大学	54	近畿大学	44
愛知大学	8	愛知学院大学	25	京都産業大学	11	龍谷大学	15
同志社大学	33	立命館大学	46	関西大学	16	関西学院大学	31
関西医科大学	4	摂南大学	22	皇學館大学	70	鈴鹿医療科学大学	60
短期大学 46名							
高田短期大学	29	三重短期大学	9	愛知学院大学短期大学部	2	関西外国語大学短期大学部	2
専修学校 57名							
三重中央看護学校	9	三重看護専門学校	8	名古屋医専	5	旭美容専門学校	3

事業実績の概要

理事会・評議員会・監事会・内部監査委員会の開催状況

令和4年度は高田学苑寄附行為に基づき、計4回の理事会、3回の評議員会を開催しました。また、高田学苑では私立学校に義務付けられている監査法人及び監事の監査に加え、内部監査委員による監査を行い、学校法人におけるガバナンスが適切に機能しているか、外部及び内部から監督・指導を受けています。令和4年度に行われた各会の開催日と議題は以下になります。

理事会	第1回	令和4年 5月27日(金)	・令和3年度決算(案)の承認について
	第2回	令和4年 5月27日(金)	・令和3年度決算(案)の承認について
	第3回	令和4年11月4日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1回収支補正予算(案)について ・学校法人高田学苑定年規程の一部改正(案)について ・学校法人高田学苑給与規程の一部改正(案)について ・学校法人高田学苑退職手当支給規程の一部改正(案)について ・育児休業・介護休業等に関する規程の一部改正(案)について ・高田短期大学学則の一部改正(案)について ・学校法人高田学苑内部監査規程(案)の制定について
	第4回	令和5年 3月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・学苑長の選任について ・理事長の職務の代理者について ・学長の選任について ・令和4年度第2回収支補正予算(案)について ・令和5年度収支当初予算(案)について ・高田短期大学学則の一部改正(案)について
評議員会	定時	令和4年 5月27日(金)	・令和3年度決算(案)の承認について
	臨時	令和4年11月4日(金)	・令和4年度第1回収支補正予算(案)について
	定時	令和5年 3月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第2回収支補正予算(案)について ・令和5年度収支当初予算(案)について
監事会	決算期	令和4年 5月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度短期大学及び中高等学校教学監査 ・令和3年度事業実績報告 ・令和3年度決算審査関係 ・質疑応答
	上半期	令和4年10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度短期大学及び中高等学校概要報告 ・令和4年度第1回補正予算書及び現預金状況 ・令和4年度事業実績報告(中間) ・質疑応答及び実査
内部監査委員会	第1回	令和4年 5月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度短期大学及び中高等学校教学監査 ・令和3年度事業実績報告 ・令和3年度決算概要報告 ・質疑応答
	第2回	令和4年10月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度短期大学及び中高等学校概要報告 ・令和4年度事業実績報告(中間) ・現金、預金及び有価証券の状況 ・学苑管理運営等について

監査法人監査報告

監査法人監査		監査法人名：五十鈴監査法人	
4月 5日（火）	現金、通帳、証書等の実査	10月 6日（木）	令和4年9月までの取引記録
5月19日（木）	令和3年度決算監査①	12月14日（水）	令和4年11月までの取引記録
5月20日（金）	令和3年度決算監査②	2月 7日（火）	令和5年1月までの短大取引記録
6月 8日（水）	令和3年度決算監査③	3月20日（月）	令和5年2月までの取引記録

危機管理への取り組み

非常食等の備蓄

東海地域は、今後の発生確率が高いとされる南海トラフ地震の影響が懸念されています。また、台風や豪雨による風水災害が全国各地で年々増加傾向であり、日頃からの備えに対して学苑全体で取り組みを進めていく必要があると考えています。本年度は新入の学生・生徒分のほか、保存期限による更新のため教職員分についても非常食等備蓄品「白い小箱」を購入しました。この「白い小箱運動」は単なる非常食等の備蓄に留まらず、小箱の詰め込み・搬入作業を行う障がい者の方々の就労支援や、非常食推進機構と締結した「災害用物資を活用した防災活動に関する協定」に基づき、学生・生徒が卒業時に自身で購入した白い小箱を寄付することで地域や食料物資を必要とする海外へ援助を行う「白い小箱運動」に参加する等の社会貢献活動として意義のあるものとなっています。



本年度は、日本非常食推進機構を通じて社会福祉法人三重県厚生事業団へ白い小箱200個、三重県子ども福祉部へ200個、津市健康福祉部へ166個、松阪市こども未来課へ350箱、鈴鹿市へ66箱の合計982個の寄付を行い、各団体・行政より障害者・児童養護施設や生活困窮者へ届けられます。

夏期教職員研修会

講演 「今こそ問われる“ハンセン病”の教訓 ～コロナ禍で考える差別～

三重テレビ放送 報道制作局長 小川 秀幸 氏

新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年から開催を見送っていましたが、令和4年8月19日（金）高田中・高等学校講堂において、教職員約200人を対象に2年越しでの開催となりました。

今回の講演は20年にわたりハンセン病に関する記録番組の制作に携わっている小川秀幸氏を講師に迎えて行われました。講演の中で、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大で差別や偏見に苦しむ人が増えていることを指摘したうえで、ハンセン病は過去のこと、人ごとではない。コロナを含む他の病気、さまざまな立場の人に同じ事が起こらないよう考えていきたいと述べられ、取材を通じて出会った三重県出身の療養所入所者にスポットを当て、その方々の想いや強さについても触れることで、ハンセン病患者への偏見や差別の教訓から何を学び、どのように行動していくかを一人一人が考える機会となりました。



開校150周年記念式典

寛政9年（1797年）に高田本山内講堂に「勸学堂」の額を掲げて末寺子弟への教授を開始し、明治5年（1872年）以降は広く一般子弟にも教場が開かれて以来、令和4年（2022年）で開校150年を迎えました。これを記念して、6月12日（日）開校150周年記念式典が開かれ、代表生徒・学生、教職員、卒業生等の約350人が参加して厳かに執り行われました。式典の中では高臣理事長より式辞が述べられ、今後も不易流行の学苑の歩みを継承し、建学の精神を基に、一人ひとりを大切にする教育を行ってまいりますと語られました。また、高田本山専修寺法主殿である常磐井慈祥様をはじめ、衆議院議員である田村憲久氏（元厚生労働大臣）といった来賓より祝辞をいただきました。



式典後には、三重県知事の一見勝之氏が「更なる成長へ～三重の挑戦～」と題して三重県の魅力や課題をテーマに記念講演を行っていただき、式典・講演ともに盛況のうちに終了致しました。また、記念誌の発行のほか、下記の記念行事が開催されました。



【 記念行事 】

○～甦る青春！高田本山専修寺探訪～ 10月24日（月）

150周年を記念して本学卒業生を対象に、国宝である高田本山の諸堂巡りを解説付で行いました。家族限定で2名まで参加していただくことも可能で、若かりし頃の思い出と共にゆっくりと高田本山を散策していただくことができました。

○150周年記念教育文化講演会 11月 9日（水）・10日（木）

人気テレビ番組「プレバト！」（TBS系列）等で活躍中の俳人 夏井いつき氏をお招きし、中学生と高校生を対象に句会ライブが開催されました。最初、俳句は難しくて苦手という生徒が多く見受けられましたが、夏井先生から俳句の作り方を教わったあと自作の俳句を全員が完成させ、その中から優秀句7選が夏井先生から発表され、それらを参加者全員で鑑賞後に生徒の拍手で最優秀句が選ばれました。夏井先生の活気あふれるライブは生徒の創作力や鑑賞力を刺激し、会場全体が俳句を通して一体となる盛況ぶりとなりました。



教職員の健康管理体制

健康診断・任意検診

本学は平成23年度より夏期休暇中に学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法などで定められた検査項目を遵守した健康診断を実施しています。令和4年度も検診時の密閉・密集・密接を避け、8月23日（火）、24日（水）、25日（木）、26日（金）の4日間で実施し、教職員221名が受診しました。コロナ禍での健康診断実施のため、昨年度より検診日を1日増やし、受付時間を分散させて設定するなど円滑に検診が受けられるよう努めています。任意検診については、これまで腹部・乳エコーや胃・大腸・前立腺・卵巣・膵臓・消化器系のがん検査が受診可能でしたが、令和4年度は血液検査での甲状腺・心臓リスクの判定が新たに加われました。また、令和元年度から始まった巡回型人間ドックも継続しています。

検査結果は個人へ直接通知され、教職員の健康管理に役立てられると共に、この結果をもとに産業医である岩崎病院が教職員の健康を確保する必要があると認めた場合は、本学に対し教職員の健康管理等について必要な勧告がなされます。

ストレスチェック

労働安全衛生法の改正により平成27年12月以降、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ目的から事業所に義務付けがなされました。教職員はストレス判定を行う調査票の質問項目に回答することで自身のストレス度合いがわかります。ストレスチェックを行うことで高ストレス者を抽出し、メンタルヘルス不調を未然に防止する一時予防を講じることでメンタル不良者の発生を防ぎ、より働きやすく健康的な職場へと改善することを目指します。今年度は6月1日（水）より一ヶ月間、ストレスチェックをウェブ上で実施しました。事業所としては検査結果を通知された教職員の希望に応じて医師による面接指導の実施を行う必要があり、またその結果、医師の意見を聞いた上で、必要な場合には、作業の転換や労働時間の短縮といった適切な措置を講じる責任があります。昨今のコロナ禍への対応や教職員へ求められるものが多様化するなかで教職員を守る一助となるようストレスへの気づきを促すとともに職場環境の分析と改善に繋げていきます。

インフルエンザ予防接種

平成28年度から毎年実施しております学苑内での予防接種ですが、今年度も三重県健康管理事業センターに来校いただき、11月14日（月）、11月18日（金）の2日間にて実施しました。希望者した122名が予防接種を受け、予防接種の費用については、これまで同様に学苑が一部負担となります。

教職員の表彰

特別表彰	
中・高等学校	11月 2日(水) 計 2名
優良教職員	教諭 1名 (公財)三重県スポーツ協会 優秀監督賞受賞による
	教諭 1名 (公財)三重県スポーツ協会 優秀選手賞受賞 三重県知事 三重県スポーツ優秀賞受賞による

永年勤続表彰			
短期大学	11月 7日(月)	計 5名	
35年 勤続	1名	25年 勤続	2名
20年 勤続	1名	10年 勤続	1名
中・高等学校	11月 2日(水)	計 25名	
35年 勤続	5名	30年 勤続	1名
25年 勤続	4名	20年 勤続	3名
15年 勤続	9名	10年 勤続	3名

教職員の異動状況

		採用			退職	
		新規採用	再雇用	任用替	再雇用	完全退職
短期大学	教授					
	准教授					
	講師					1
	助教	1				2
	本務職員	1				
	特任教授			1		1
	特任准教授					
	特任講師	1				
	嘱託職員	1				3
非常勤職員	1				1	
中・高等学校	教諭	1	2			3
	本務職員					
	講師		1			
	講師嘱託	2				
	ALT					1
	嘱託職員	1	2			1
非常勤講師	5				9	

給付型奨学金・授業料等減免（助成）

高田学苑では、保護者や学生の経済的な負担を軽減する目的から、各種奨学金・授業料等減免制度を設けています。なお、これらの奨学金は給付型であり、すべて返済不要です。

高田短期大学介護福祉士就労予定者奨学金	
対 象	キャリア育成学科介護福祉コース学生
目 的	建学の精神に照らし、特に学業・人物に優れた学生で卒業後介護施設に就職する予定であるすべての学生（外国人留学生を除く）を支援する。
決定者	7名（1年生10名、2年生4名）
奨学金額	1,800,000円（1年生は年額10万円給付、2年生は年額20万円給付）
高田短期大学奨学金私費外国人留学生授業料等減免措置	
対 象	高田短期大学に在学する私費外国人留学生
目 的	授業料・施設設備整備費・教育充実費等の経済的負担を減免する。
決定者	33名（減免率についてはGPAと出席率によって決定）
奨学金額	8,328,000円

短期大学入学免除制度

高田高等学校を卒業し高田短期大学に入学する場合、入学金（28万円）が免除される制度もあります。過去3カ年の高田高等学校からの進学者数は以下のとおりです。

	令和2年度入学	令和3年度入学	令和4年度入学
人 数	36名	40名	28名

高田学苑 クラブチーム事業報告

令和4年度 みえ高田F C

三重県の高等教育機関魅力向上補助事業の採択を受け、県内の中学・高校・短大生と社会人から構成される女子サッカークラブチームとして平成27年度に設立され、全国でも珍しい学校法人が運営する女子サッカークラブチームです。これまで監督である元なでしこジャパンの宮本ともみ氏指揮のもとでの活動でしたが、2021年に宮本氏のU-20日本女子代表コーチへの就任が決まり、みえ高田F Cの指揮を新たに小澤亮二氏に託すこととなりました。小澤氏はこれまで三重県サッカー協会のトレセン女子指導員や三重県国体選抜（女子）監督等を歴任し、三重県のサッカー競技の向上と普及に貢献されてきました。国際大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチング資格を有しており、その手腕をみえ高田F Cで発揮して頂きます。これまで同様に地域に根づいた活動を行い、サッカー競技を通じて世界を舞台に活躍できる優れた人材を育成することを目的として活動を行ってまいります。

平成28年度からは県内リーグへ参戦し、平成30年度には県内リーグで上位にランクインしました。令和4年1月には東海リーグ参入戦を迎え、初戦を勝利し次年度に向け昇格に大きく前進しましたが新型コロナウイルス感染症の影響から大会中止が決定し昇格は見送りとなりました。しかしながら大会でのチームの評価は高く、その後の活動の幅が更に広がる結果となりました。

令和4年度としては、公式戦・練習試合を併せ94試合を行い、U-15との対戦にとどまらず、高校（U-18）、一般（成人）、男子（U-15世代）とも対戦することで競技力向上に取り組んできました。三重県U-15リーグでは決勝まで勝ち進みましたが県下強豪チームの楠クラブレディ

ースに惜敗となり準優勝という結果となりました。また、三重県女子リーグでは全勝優勝を勝ち取り、東海リーグ参入戦に出場しました。結果は惜しくも敗退となったものの、今後への手応えを感じさせる試合内容でした。そのほか、国体選抜少年女子U-16メンバーにチーム内から7名が選出されたほか、東海トレーニングセンターメンバーとして5名、三重県トレーニングセンター女子U-15には10名が選出され、過去最も多い状況となっています。「育成」「強化」への取組を行う中、女子サッカーの「普及」活動を三重県内でもより活発に行ってきた結果、県内外からの評価や本学苑への関心なども高まってきており、様々な形で今後の活動へ波及していくことが期待されます。今後の活動としては、この恵まれた環境を最大限に活かし、日本代表(なでしこJAPAN)3名の実現や教育とスポーツの両輪を持つ、女性スポーツ環境の確立の実現に取り組んでいきます。

【令和4年度 公式戦日程・結果一覧】

No.	日 程	区分	対戦相手	カテゴリー	結果	スコア			備考
1	5月4日	公式戦(U-15リーグ)	楠クラブレディース	女子(U-15)	○	4	-	2	
2	5月15日	公式戦(U-15リーグ)	ヴィアティン三重レディースユース	女子(U-15)	○	12	-	0	
3	7月10日	公式戦(県リーグ)	ルビナ四日市	女子(一般)	●	2	-	3	
4	8月28日	公式戦(県リーグ)	FCミナス	女子(一般)	○	12	-	0	
5	9月23日	公式戦(U-15選手権)	伊賀FCくノ一三重サテライト	女子(U-15)	○	7	-	1	準決勝
6	10月2日	公式戦(U-15選手権)	楠クラブレディース	女子(U-15)	●	2	-	4	決勝
7	10月15日	公式戦(県リーグ)	伊賀FCくノ一三重サテライト	女子(高校/U-18)	○	4	-	1	
8	11月20日	公式戦(県リーグ)	FCミナス	女子(一般)	○	7	-	1	
9	12月3日	公式戦(県リーグ)	伊賀FCくノ一三重サテライト	女子(高校/U-18)	○	5	-	0	
10	12月4日	公式戦(県リーグ)	ルビナ四日市	女子(一般)	△	2	-	2	
11	令和5年1月21日	公式戦(東海U-15参入戦)	飛騨 Dream FC	女子(U-15)	●	0	-	5	



令和4年度 みえ高田VC S a l a

平成28年度に県下初の社会人バレーボールとして発足し、春高バレー三重県大会で幾度も優勝へ導いた実績のある秋津修氏を監督に迎えて活動してきました。これまでには全国大会3位に輝いたほか、令和2年には三重とこわか国体・Vリーグ参入を目指すため、ヴィアティン三重と統一チームを編成して活動予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和3年度三重とこわか国体が残念ながら中止となってしまいました。その後、ヴィアティン三重はVリーグへ参戦、みえ高田VC S a l aは社会人バレーにおいて活動することとなりました。

令和4年度、みえ高田VC S a l aとしては高田短期大学卒業生を中心にメンバーを一新し、これまで同様に社会人バレーボール大会への参戦を継続しています。新体制での活動のため、これまで以上に練習に時間を割いて準備を進めてきており、11月に行われた三重県クラブバレーボール連盟主催の公式戦では優勝するなど着実に力を付けてきており、今後の活躍が期待されます。